

環境造形Ⅰ	報告課題第1回 解説	年 組 氏名
-------	------------	--------

環境造形Ⅰの報告課題は、芸術を幅広い視点でとらえる内容になります。普段の授業で行う技術習得や知識理解だけでなく、皆さんが日常に行っている芸術活動の参考になっていくと思います。

## ●自然や生活環境と造形の調和

近年、展覧会の企画内容だけでなく、外観にもこだわった美術館が増えてきています。

今回は滋賀県にある「MIHO MUSEUM(ミホ ミュージアム)」と香川県の直島(なおしま)にある「地中美術館」の2つを取り上げています。

これらの美術館は交通の便が良いところにあるわけでもありませんが人気を博しています。それは、展覧会の内容だけでなく自然との調和を考えた外観にも魅力があるからと言われています。

今回の報告課題を通して、特に覚えておいてほしいことは建築家「安藤忠雄」さんです。報告課題にある「地中美術館」の設計だけでなくいろいろな分野の設計を行っています。関西文化と同じグループの環太平洋大学にも安藤さんが手がけた建築があります。

## ■安藤忠雄さんの建築の特徴

### 「コンクリート打ちっ放し」

安藤建築=コンクリートと言われるくらいコンクリートをそのまま活かした建築多く、今では安藤作品以外にも見かけることが多くなりましたが、発表当時はとても挑戦的であったといわれています。

### 「自然との調和」

スイスのバーゼルに、「ヴィトラキャンパス」という、世界的有名建築家が設計した建物群があります。そこで安藤忠雄さんも依頼され、建物を設計しました。その建物が現地の方々から高い評価を受けています。なぜなら、周辺にある木々を切らないために建物を地下に埋めたから、という具合です。安藤さんは木々などの自然要素も大切にしているところも特徴といえます。

※ 安藤さんの代表的な建築物を挙げておきます。機会があれば調べてみてくださいね

- ・ 住吉の長屋(1976年)
- ・ 小篠邸(1981年)
- ・ 六甲の集合住宅Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ(1983年,1993年,1999年,2009年)
- ・ 風の教会(1986年)
- ・ 水の教会(1988年)
- ・ 光の教会(1989年)
- ・ ベネッセハウスミュージアム(1992年)
- ・ 大阪府立近つ飛鳥博物館(1995年)
- ・ 淡路夢舞台(2000年)
- ・ 国立国会図書館 国際子ども図書館(2002年)
- ・ 表参道ヒルズ(2006年)